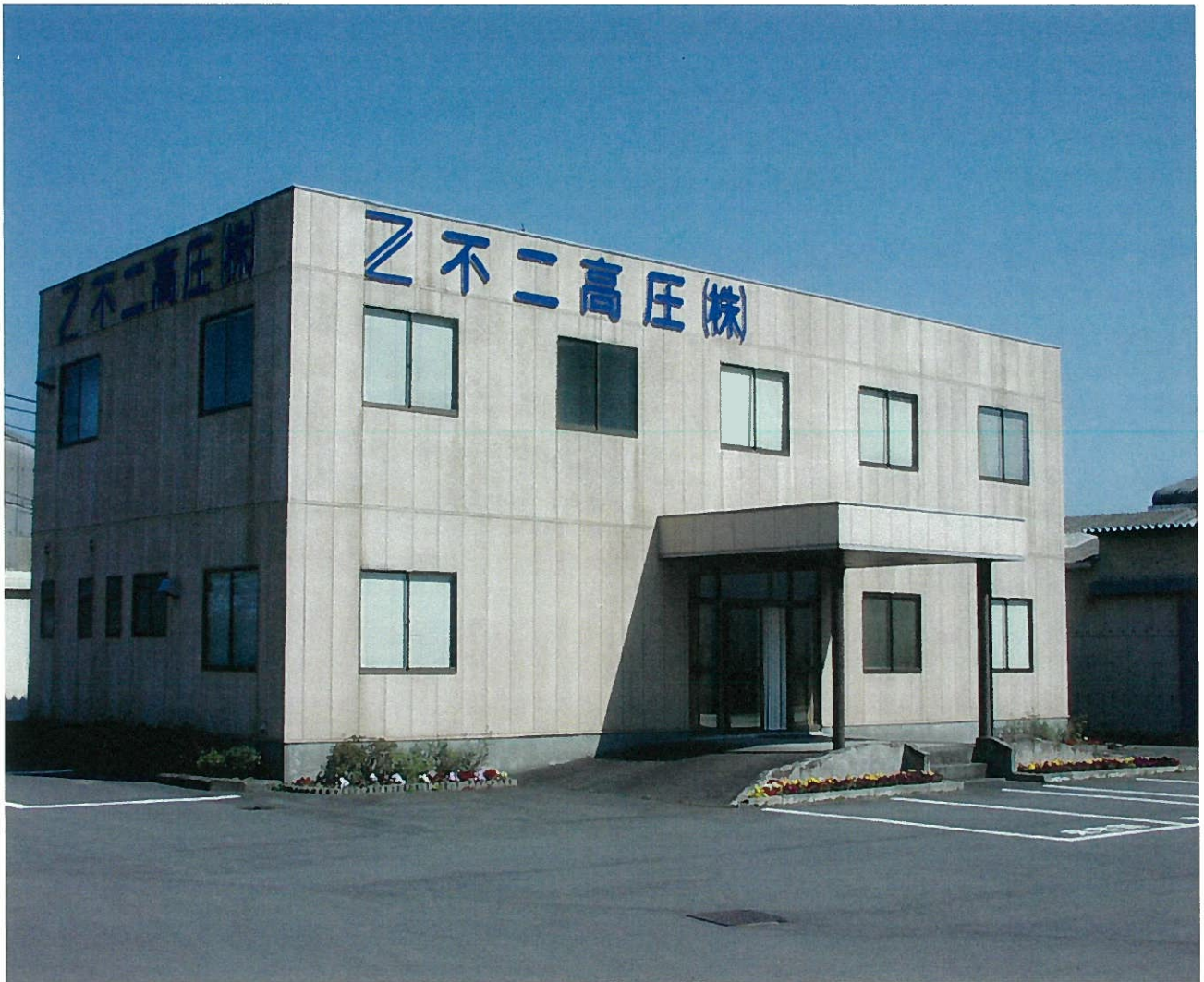


エコアクション21

# 環境活動レポート

平成28年度（2016/7-2017/6）



平成29年11月30日 発行

・ ・ 環境問題を皆で理解し広めよう ・ ・

不二高圧株式会社

# 環境活動レポート

## 平成28年度（2016/7-2017/6）

### 目 次

事業の概要・実施体制 .....	1
環境経営システムの組織図 .....	3
環境方針 .....	4
中・長期環境目標 .....	5
短期環境目標と実績・評価 .....	9
環境活動計画の取組結果 .....	14
具体的な環境活動 .....	15
環境活動の取組結果の評価 .....	18
次期 環境活動の取組計画 .....	22
環境関連法規に係る遵守及び違反、訴訟等の状況 .....	23
代表者による評価と見直し .....	24

## 【事業の概要・実施体制】

### 1. 事業所名及び代表者名

社名 不二高压株式会社  
代表者 代表取締役 社長 近藤 政明

### 2. 対象範囲（本社）

〒421-0218 静岡県焼津市下江留437番地の16  
TEL・054-622-1120(代) FAX・054-622-3487

### 3. 環境管理の責任者及び担当者氏名、連絡先

環境管理責任者 近藤 政明  
受付・事務担当者 石田 文子  
連絡先 TEL・054-622-1120(代) FAX・054-622-3487  
<http://www.zz-fujikoatsu.co.jp/>  
E-mail・f.ishida@zz-fujikoatsu.co.jp

### 4. 事業の内容

#### 『検査部』

- \* 容器検査 高压ガス容器の再検査
- \* ローリ検査 液化石油ガス・タンクローリ用容器の法定再検査の施行
- \* プラント検査 高压ガス設備の法定検査、(貯槽、配管、機械精密検査)定期点検の施行

#### 『工事部』 高压ガス設備の設計・施工・修理

#### 『事務所』 総務 経理 事務処理、書類作成

### 5. 事業の規模

法人設立 昭和45年 7月23日(創立 昭和40年1月)  
資本金 1,000万円  
決算期 期首 7月1日 期末6月30日  
従業員 40人  
敷地面積 14,321㎡  
床面積 容器検査工場900.49㎡・タンクローリ検査工場440.15㎡・  
倉庫153㎡・事務所335.24㎡・休憩室105㎡

## 6. 活動規模

① 売上 期首 7月1日 期末 6月30日 単位 百万円

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
総売上高	833	618	739	600
容器検査	179	174	172	171
ローリ検査	57	50	45	53
プラント検査	187	188	207	197
検査部計	423	412	424	421
工 事 部	410	206	315	179

### ② 設備等の状況

「検査部」 定置検査設備一式(残ガス回収、耐圧検査、塗装他) 小型容器280本/日  
 移動検査機器一式 (非破壊検査機器他KHK基準検査設備)3セット  
 車 両(台) 7t車1台・4t車2台・3t車1台・フォークリフト2台  
 検査専用貨物車3台(軽油)・営業車2台(ガソリン車)

「工 事 部」 設計施工関係 (キヤド等OAソフト機器、資材加工機器)  
 車 両(台) 貨物車1台(軽油)・営業車3台(ガソリン車)

「事務所」 パソコン 33台 プリンター 9台 コピー機 4台  
 車 両(台) 営業車2台(ガソリン車)

## 7. 資格(許認可・登録)

「検査部」 容器検査所の登録 : 静岡県 平・28・10・1 防消防第44号の5  
 (50,000ℓ以下の液石及び液化天然ガス溶接容器で、TP5Mpa以下)  
 高压ガス製造許可: 静岡県 昭・56・1・16 消第88-10号  
 液化石油ガスプラント検査事業者認定(高压ガス保安協会KP-18)  
 液化石油ガスタンクローリ検査事業者認定(高压ガス保安協会KT-3)  
 指定保安検査機関の指定:(経済産業省)平成20151201商第32号)  
 指定保安検査機関の業務規程認可(経済産業省)20151201商第33号)

「工 事 部」 建設業の許可(管工事)静岡県般-27第9549号平27年11月15日

「環境関係」 エコアクション21 認証・登録番号 0002362 認証登録日 平成20年4月7日  
 産業廃棄物収集運搬業許可 第143883号(静岡県 平成25年8月22日)  
 28年度 実績なし

## 8. エコアクション21 対象範囲 本社 【10.環境経営システム組織図】参照

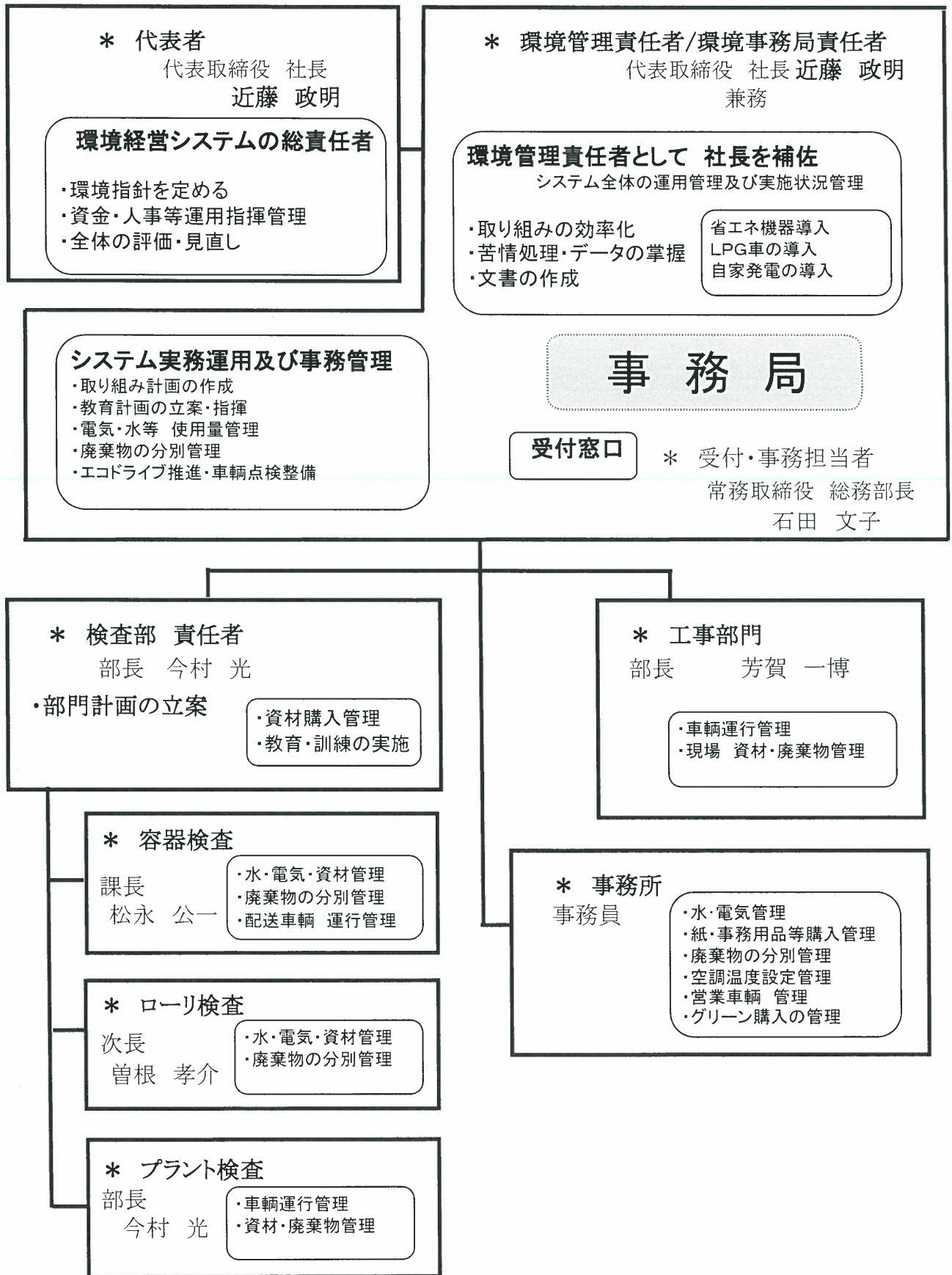
事業活動 高压ガス容器の再検査及び 高压ガス設備の点検、保安検査  
 高压ガス設備の設計、施工・管工事

## 9. レポートの対象期間 及び 発行年月日

対象期間 始 平成28年7月1日  
 至 平成29年6月30日

発行年月日 平成29年11月30日

## 実施体制



## 【環境方針】

### 「基本理念」

不二高圧株式会社は、高圧ガスの容器及び施設の検査、並びに高圧ガス設備工事の事業を通して公共の保安の確保を目的に、地域社会にクリーンでかつ安心と安全を届け、地球にやさしく、快適な生活環境の構築に貢献します。

### 「活動方針」

1. 廃棄物削減の為、分別・リユース（再利用）、リデュース（減量）、リサイクル（再資源化）の徹底に努めます。
2. 資源エネルギーの有効利用の為、電力や車輛燃料・冷暖房の省エネルギー化に努め、CO<sub>2</sub> 排出量を削減します。
3. 水資源を守るため、総排水量の削減に努めるとともに、環境を守るために排水水質の管理を行います。
4. 化学物質の適正管理に努め、使用量を可能な限り削減するだけに留まらず、より人体や環境に優しい化学物質等への変更を検討します。
5. 資材・事務用品等の必要物品は「グリーン購入法」に基づき、環境配慮品の購入に努めます。
6. 関連する環境関連法を遵守し、地域の環境保全活動に積極的に参加し、自ら構内、周辺の環境保全に努めます。

本方針を全社員に教育し周知徹底するとともに、環境活動レポートを公表します。

制定年月日 平成19年 7月25日

改訂年月日 平成26年10月15日

不二高圧株式会社

代表取締役社長

近藤 政明



# 【中・長期環境目標】

総 合

(検査部・工事部・事務所)

平成27年度～平成29年度 (2015/7-2018/6)

## ① 二酸化炭素排出量

(目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準=100%とする)

項 目		平成21～24年度 実績	平成27年度 目標	平成28年度 目標	平成29年度 目標
<b>二酸化炭素排出量</b>		<b>530,858.2</b>	<b>499,006.7</b>	<b>478,621.8</b>	<b>458,661.5</b>
kg-CO <sub>2</sub> %		100.0	94.0	92.0	90.0
購入電力	消費量 kWh	150,124.3	141,116.8	135,352.1	129,707.4
	%	100.0	94.0	92.0	90.0
21～24年度平均 0.495(kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	排出量	74,311.5	69,852.8	66,999.3	64,205.2
	%	100.0	94.0	92.0	90.0
残ガス燃焼	燃焼量 kg	75,450.0	70,923.0	68,025.7	65,188.8
	%	100.0	94.0	92.0	90.0
	排出量	226,497.8	212,907.9	204,210.4	195,694.1
	%	100.0	94.0	92.0	90.0

(目標設定は24年度実績を基準=100%とする)

軽油 燃費 (km/ℓ)	検査部(容器)	1号車・2号車・3号車	車両ごとの燃費向上を 目標とします
	検査部(プラント)	キャラバン(検査車)3台	3台平均の燃費向上を 目標とします
	工事部	キャラバン(検査車)1台	燃費向上を 目標とします
ガソリン 燃費 (km/ℓ)	検査部(プラント)	ハイエース・プロボックス3362	車両ごとの燃費向上を 目標とします
	工事部	ADバン・プロボックス5946	車両ごとの燃費向上を 目標とします
	事務所	ノート(1107)	車両ごとの燃費向上を 目標とします

## ② 廃棄物排出量

(目標設定は24年度実績を基準=100%とする)

項 目		平成24年度 実績	平成27年度 目標	平成28年度 目標	平成29年度 目標
単純焼却 廃棄物	t	1.42	1.33	1.28	1.23
	%	100.0	94.0	92.0	90.0
最終処分 廃棄物	t	13.98	13.14	12.60	12.08
	%	100.0	94.0	92.0	90.0

## ③ 総水使用量

(目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準=100%とする)

項 目		平成21～24年度 実績	平成27年度 目標	平成28年度 目標	平成29年度 目標
上水使用量	m <sup>3</sup>	420.4	395.2	379.0	363.2
	%	100.0	94.0	92.0	90.0
地下水使用量	m <sup>3</sup>	9,067.1	7,707.0	6,891.0	6,120.3
	%	100.0	85.0	80.0	75.0

## ④ その他

- \* 化学物質・・・数値目標は設けず、常に適正に管理することとする。
- \* グリーン購入法・・・数値目標は設けず、常にグリーン商品の購入に心がけることとする。

## 【中・長期環境目標】

検査部

平成27年度～平成29年度（2015/7-2018/6）

### ① 二酸化炭素排出量

（目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準＝100%とする）

項 目		平成21～24年度 実績	平成27年度 目標	平成28年度 目標	平成29年度 目標
<b>二酸化炭素排出量</b>		<b>420,498.8</b>	<b>395,268.9</b>	<b>379,121.7</b>	<b>363,311.0</b>
kg-CO <sub>2</sub> %		100.0	94.0	92.0	90.0
購入電力	消費量 kWh	148,651.5	139,732.4	134,024.2	128,434.9
	%	100.0	94.0	92.0	90.0
21～24年度平均 0.495(kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	排出量	73,582.5	69,167.5	66,342.0	63,575.3
	%	100.0	94.0	92.0	90.0
残ガス燃焼	燃焼量 kg	75,450.0	70,923.0	68,025.7	65,188.8
	%	100.0	94.0	92.0	90.0
	排出量	226,497.8	212,907.9	204,210.4	195,694.1
	%	100.0	94.0	92.0	90.0

\* 残ガスの単純燃焼を減らすよう、対策を考える。

（目標設定は24年度実績を基準＝100%とする）

項 目		平成24年度 実績	平成27年度 目標	平成28年度 目標	平成29年度 目標
軽油 燃費 (km/ℓ)	1号車	5.05 100.0	5.35 106.0	5.45 108.0	5.56 110.0
	2号車	6.26 100.0	6.64 106.0	6.76 108.0	6.89 110.0
	3号車	6.07 100.0	6.43 106.0	6.56 108.0	6.68 110.0
軽油 燃費 (km/ℓ)	キャラバン 3台(平均)	8.39 100.0	8.89 106.0	9.06 108.0	9.23 110.0
ガソリン 燃費 (km/ℓ)	ハイエース・ プロボックス3362	11.93 100.0	12.65 106.0	12.88 108.0	13.12 110.0

### ② 廃棄物排出量

（目標設定は24年度実績を基準＝100%とする）

項 目		平成24年度 実績	平成27年度 目標	平成28年度 目標	平成29年度 目標
単純焼却	t	0.15	0.14	0.14	0.13
塗料カス	%	100.0	94.0	92.0	90.0
最終処分	t	13.76	12.93	12.41	11.89
汚泥	%	100.0	94.0	92.0	90.0

\* 単純焼却の廃棄物は、塗料カス(産廃)

### ③ 総水使用量

（目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準＝100%とする）

項 目		平成21～24年度 実績	平成27年度 目標	平成28年度 目標	平成29年度 目標
上水使用量	m <sup>3</sup>	193.1	181.5	174.1	166.8
	%	100.0	94.0	92.0	90.0
地下水使用量	m <sup>3</sup>	9,067.1	7,707.0	6,891.0	6,120.3
	%	100.0	85.0	80.0	75.0

### ④ その他

\* 化学物質・・・数値目標は設けず、常に適正に管理することとする。

\* グリーン購入法・・・数値目標は設けず、常にグリーン商品の購入に心がけることとする。



# 【中・長期環境目標】

工事部

平成27年度～平成29年度（2015/7-2018/6）

## ① 二酸化炭素排出量

（目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準＝100%とする）

項目	平成21～24年度 実績	平成27年度 目標	平成28年度 目標	平成29年度 目標
二酸化炭素排出量 kg-CO <sub>2</sub> %	56,166.8 100.0	52,796.8 94.0	50,640.0 92.0	48,528.1 90.0

（目標設定は24年度実績を基準＝100%とする）

項目	平成24年度 実績	平成27年度 目標	平成28年度 目標	平成29年度 目標
軽油 燃費 (km/ℓ)	8.39 100.0	8.89 106.0	9.06 108.0	9.23 110.0
ガソリン 燃費 (km/ℓ)	11.93 100.0	12.65 106.0	12.88 108.0	13.12 110.0
キャラバン 6908 <small>(28年新車のため 実績は他の キャラバンに準じる)</small>				
ADバン・ プロボックス5946				

## ② 廃棄物排出量

（目標設定は24年度実績を基準＝100%とする）

項目	平成24年度 実績	平成27年度 目標	平成28年度 目標	平成29年度 目標
単純焼却 廃棄物 t	0.51	0.48	0.46	0.44
%	100.0	94.0	92.0	90.0
最終処分 廃棄物 t	0.22	0.21	0.20	0.19
%	100.0	94.0	92.0	90.0

## ④ その他

- \* 総水使用量…数値目標は設けず、常に適正に管理することとする。
- \* 化学物質…数値目標は設けず、常に適正に管理することとする。
- \* グリーン購入法…数値目標は設けず、常にグリーン商品の購入に心がけることとする。

## 【中・長期環境目標】

事務所

平成27年度～平成29年度（2015/7-2018/6）

### ① 二酸化炭素排出量

（目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準＝100%とする）

項 目		平成21～24年度 実績	平成27年度 目標	平成28年度 目標	平成29年度 目標
<b>二酸化炭素排出量</b>		<b>54,192.6</b>	<b>50,941.0</b>	<b>48,860.0</b>	<b>46,822.4</b>
kg-CO <sub>2</sub> %		100.0	94.0	92.0	90.0
購入電力	消費量 kWh	1,472.8	1,384.4	1,327.9	1,272.5
	%	100.0	94.0	92.0	90.0
21～24年度平均 0.495(kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	排出量	729.0	685.3	657.3	629.9
	%	100.0	94.0	92.0	90.0

（目標設定は24年度実績を基準＝100%とする）

項 目		平成24年度 実績	平成27年度 目標	平成28年度 目標	平成29年度 目標
ガソリン 燃費 (km/ℓ)	ノート	15.02	15.92	16.22	16.52
		100.0	106.0	108.0	110.0

### ② 廃棄物排出量

（目標設定は24年度実績を基準＝100%とする）

項 目		平成24年度 実績	平成27年度 目標	平成28年度 目標	平成29年度 目標
単純焼却	t	0.76	0.71	0.69	0.66
廃棄物	%	100.0	94.0	92.0	90.0

### ③ 総水使用量

（目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準＝100%とする）

項 目		平成21～24年度 実績	平成27年度 目標	平成28年度 目標	平成29年度 目標
上水使用量	m <sup>3</sup>	227.3	213.7	204.9	196.4
		100.0	94.0	92.0	90.0

### ④ その他

\* グリーン購入法…数値目標は設けず、常にグリーン商品の購入に心がけることとする。

# 【短期環境目標と実績・評価】

平成28年度

総合

(検査部・工事部・事務所)

## ① 二酸化炭素排出量

(目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準=100%とする)

項目	平成21～24年度 実績	平成28年度		評価 (達成○・不可×)
		目標	実績	
<b>二酸化炭素排出量</b> kg-CO <sub>2</sub> %	530,858.2 100.0	478,621.8 92.0	536,216.6 101.0	×
購入電力 <small>21～24年度平均 0.495(kg-CO<sub>2</sub>/kWh) 28年度 0.499(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)</small>	消費量 kWh %	150,124.3 100.0	135,352.1 92.0	○
	排出量 %	74,311.5 100.0	66,999.3 92.0	
残ガス燃焼	燃焼量 kg %	75,450.0 100.0	68,025.7 92.0	×
	排出量 %	226,497.8 100.0	204,210.4 92.0	

(目標設定は24年度実績を基準=100%とする)

項目	平成24年度 実績	平成28年度		評価 (達成○・不可×)	
		目標	実績		
軽油 燃費 (km/ℓ)	1号車	5.05	5.45	5.15	×
	2号車	6.26	6.76	6.73	×
	3号車	6.07	6.56	6.23	×
	検査部3台	8.39	9.06	9.28	○
	工事部		9.06	10.50	○
ガソリン 燃費 (km/ℓ)	検査部2台	11.93	12.88	15.12	○
	工事部		12.88	14.24	○
	事務所	15.02	16.22	15.77	×

## ② 廃棄物排出量

(目標設定は24年度実績を基準=100%とする)

項目	平成24年度 実績	平成28年度		評価 (達成○・不可×)	
		目標	実績		
単純焼却 廃棄物	t %	1.42 100.0	1.28 92.0	1.85 130.3	×
最終処分 廃棄物	t %	13.98 100.0	12.60 92.0	21.79 155.9	×

\* 単純焼却の廃棄物には、残ガス燃焼は含まない

## ③ 総水使用量

(目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準=100%とする)

項目	平成21～24年度 実績	平成28年度		評価 (達成○・不可×)	
		目標	実績		
上水使用量	m <sup>3</sup> %	420.4 100.0	379.0 92.0	349.0 83.0	○
	地下水使用量	m <sup>3</sup> %	9,067.10 100.0	6,891.00 80.0	

# 【短期環境目標と実績・評価】

平成28年度

平成28年7月～平成29年6月

検査部-1

## ① 二酸化炭素排出量

(目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準=100%とする)

項目	平成21～24年度 実績	平成28年度		評価 (達成○・不可×)
		目標	実績	
<b>二酸化炭素排出量</b> kg-CO <sub>2</sub> %	420,498.8 100.0	379,121.7 92.0	445,340.5 105.9	×
購入電力  21～24年度平均 0.495(kg-CO <sub>2</sub> /kWh) 28年度 0.499(kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	消費量 kWh %	148,651.5 100.0	134,024.2 92.0	○
	排出量 %	73,582.5 100.0	66,342.0 92.0	
残ガス燃焼	燃焼量 kg %	75,450.0 100.0	68,025.7 92.0	×
	排出量 %	226,497.8 100.0	204,210.4 92.0	

【コメント】	
二酸化炭素排出量	容器検査本数が 28年度49,765本(21年度～24年度平均が57,005本)なので、けて良い数字ではない。前回まで、『容器検査部』のみで集計していたが、今回より、ローリ検査、プラント検査も含めて、検査部として集計した。 前回まで、工事で計上していた検査車3台(軽油)、営業車3台(ガソリン)分が、検査部に計上したので、燃料としての二酸化炭素排出量が増加している。
購入電力	排出係数 21年 0.371 23年 0.341 24年 0.513 25年 0.509 27年 0.402(鈴与) 28年 0.499(鈴与) 購入電力の減少以上に、鈴与の電気に変更したことにより、係数が変わり二酸化炭素の排出量は減少した。
残ガス燃焼	検査本数の割には、残ガス燃焼が多い。廃棄や再検査容器の残ガス量が多い。 廃棄が始まったバルク貯槽の残ガスも、今後さらに増えると思える。

(目標設定は24年度実績を基準=100%とする)

項目	平成24年度 実績	平成28年度		評価 (達成○・不可×)	
		目標	実績		
軽油 (燃費) (km/ℓ)	1号車	5.05 100.0	5.56 108.0	5.15 102.0	×
	2号車	6.26 100.0	6.90 108.0	6.73 107.5	×
	3号車	6.07 100.0	6.69 108.0	6.23 102.6	×
	キャラバン 3台	8.39 100.0	9.06 108.0	9.28 110.6	○
ガソリン 燃費 (km/ℓ)	ハイエース・ プロボックス3362	11.93 100.0	12.88 108.0	15.12 126.7	○

評価		【コメント】			
軽油 (燃費) (km/ℓ)	1号車	一番の大型車(7t車) 昨年 5.27 昨年 6.69 昨年 6.46 3台とも 目標には達していないが、 平成24年度よりは少しだが費は向上している。			
	2号車				
	3号車				
	キャラバン 3台	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	つ 8456	7.52	7.82	7.99	7.43
	て 7778	8.16	8.21	8.23	8.21
	と 9735		11.05	10.96	12.20
ガソリン 燃費 (km/ℓ)	ハイエース・ プロボックス 3362	昨年 12.17	今後も無駄なアイドリング等をやめ、エコ運転に努めるよう指導する。		

# 【短期環境目標と実績・評価】

平成28年度

平成28年7月～平成29年6月

検査部-2

## ② 廃棄物排出量

(目標設定は24年度実績を基準=100%とする)

項目		平成24年度 実績	平成28年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
単純焼却	t	0.15	0.14	0.00	○
塗料カス	%	100.0	92.0	0.0	
最終処分	t	13.76	12.41	18.70	×
汚泥	%	100.0	92.0	135.9	

\* 単純焼却の廃棄物は、工場から出る塗料カス(産廃)

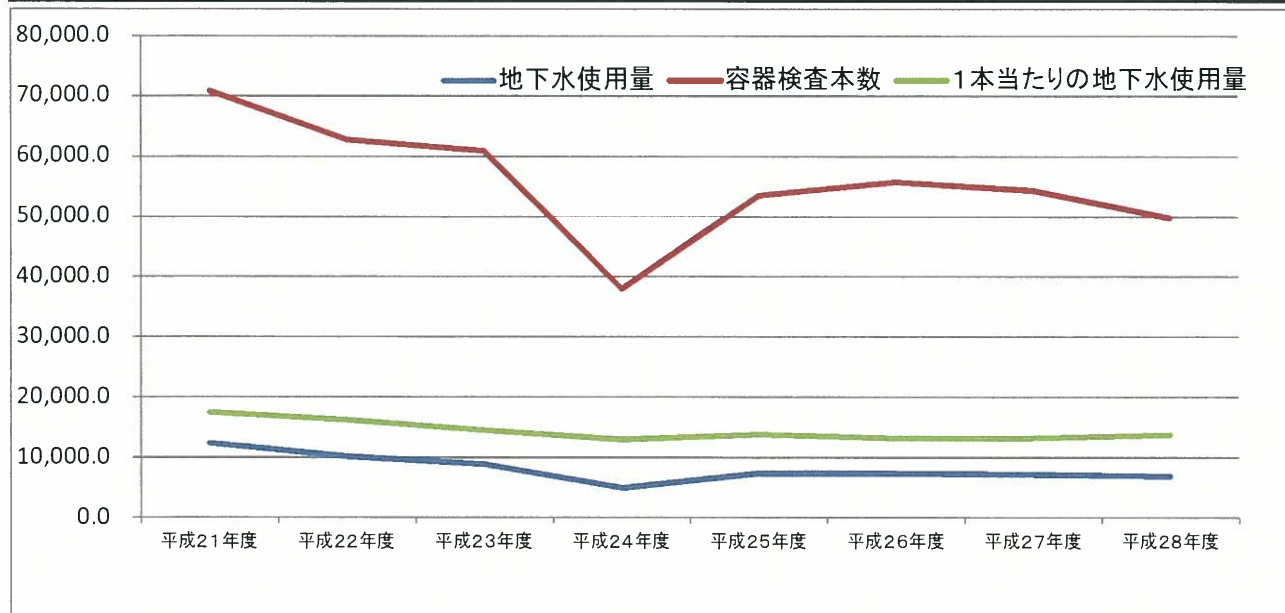
【コメント】	
単純焼却 塗料カス	塗装機械を有機塗装から粉体塗装に変えたことにより、塗料カスがほとんどでなくなったため。
最終処分 汚泥	容器部専用の 産廃廃棄用ボックスを設置し、分別を徹底する。最終処分はショットの汚泥。 27年度 18.79 26年度 13.98 25年度36.06 24年度 13.98

## ③ 総水使用量

(目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準=100%とする)

項目		平成21～24年度 実績	平成28年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
上水使用量	m <sup>3</sup>	193.1	174.1	26.4	○
	%	100.0	92.0	13.7	
地下水使用量	m <sup>3</sup>	9,067.1	6,891.0	6,825.2	○
	%	100.0	80.0	75.3	

【コメント】	
上水使用量	昨年は、27.3 昨年比では-3%。26年7月に工場上水道に 計量器を取付けたので、正確な数字が出るようになりました。その分、事務所使用量が急増しましたが、併せれば減少となっています。
地下水使用量	28年度 49,765本(21年度～24年度平均が57,005本) 昨年は 7178.8 昨年比 -5% 検査本数の減少と耐圧設備を更新で 使用量も減少の傾向です。



# 【短期環境目標と実績・評価】

平成28年度

平成28年7月～平成29年6月

工事部

## ① 二酸化炭素排出量


(目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準=100%とする)

項目	平成21～24年度 実績	平成28年度		評価 (達成○・不可×)
		目標	実績	
<b>二酸化炭素排出量</b>	<b>56,166.8</b>	<b>50,640.0</b>	<b>20,976.0</b>	○
kg-CO <sub>2</sub> %	100.0	92.0	37.3	

(目標設定は24年度実績を基準=100%とする)

項目	平成24年度 実績	平成28年度		評価 (達成○・不可×)
		目標	実績	
軽油 燃費 (km/ℓ)	8.39 100.0	9.06 108.0	10.50 125.1	○
ガソリン 燃費 (km/ℓ)	11.93 100.0	12.88 108.0	14.24 119.4	
	キャラバン 6908 <small>(28年新車のため 実績は他のキャラバンに準じる)</small>			
	ADバン・プロボックス 5946			

### 【コメント】

二酸化炭素排出量	全体的には、節約の意識が上がってきていると思う			
軽油 燃費 (km/ℓ)	キャラバン 6908	車内の荷物整理、アイドリングストップ等の効果が出たと思います。		
ガソリン 燃費 (km/ℓ)	ADバン・プロボックス 5946			

## ② 廃棄物排出量

(目標設定は24年度実績を基準=100%とする)

項目	平成24年度 実績	平成28年度		評価 (達成○・不可×)
		目標	実績	
単純焼却 廃棄物	t 0.51 100.0	0.46 92.0	0.40 78.4	○
最終処分 廃棄物	t 0.22 100.0	0.20 92.0	0.25 113.6	

### 【コメント】

単純焼却 廃棄物	更に分別の徹底を図る。			
最終処分 廃棄物	更に分別の徹底を図る。			

# 【短期環境目標と実績・評価】

平成28年度

平成28年7月～平成29年6月

事務所

## ① 二酸化炭素排出量

(目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準=100%とする)

項目	平成21～24年度 実績	平成28年度		評価 (達成○・不可×)
		目標	実績	
<b>二酸化炭素排出量</b> kg-CO <sub>2</sub> %	54,192.6 100.0	48,860.0 92.0	69,900.1 129.0	×
購入電力  21～24年度平均 0.495(kg-CO <sub>2</sub> /kWh) 28年度 0.499(kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	消費量 kWh	1,472.8	955.0	○
	%	100.0	64.8	
	排出量	729.0	476.6	
	%	100.0	65.4	

(目標設定は24年度実績を基準=100%とする)

項目	平成24年度 実績	平成28年度		評価 (達成○・不可×)
		目標	実績	
ガソリン 燃費 (km/ℓ)	ノート 15.02 100.0	16.22 108.0	15.77 105.0	×

【コメント】					
二酸化炭素 排出量	GHP空調を、事務所1階・2階に、今回より 休憩室分も加算したので、LPG発電による二酸化炭素排出量が増加した。ガソリンも営業車(ノート)1台に、今回より社長車(1107)を加えたので、大幅に増加した。(社長車、前は工事で計上)				
購入電力	空調のオン/オフを、こまめにしたことと思う。				
ガソリン 燃費 (km/ℓ)		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	ノート	25年度 新車	16.79	17.47	15.77
	1107			27年度 新車	14.28

## ② 廃棄物排出量

(目標設定は24年度実績を基準=100%とする)

項目	平成24年度 実績	平成28年度		評価 (達成○・不可×)
		目標	実績	
単純焼却 廃棄物	t 0.76 %	0.69 92.0	0.84 110.5	×

【コメント】	
単純焼却 廃棄物	今後も啓蒙に努める。

## ③ 総水使用量

(目標設定は平成21年度～24年度実績の平均を基準=100%とする)

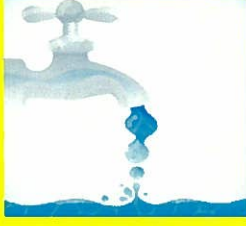

項目	平成21～24年度 実績	平成28年度		評価 (達成○・不可×)
		目標	実績	
上水使用量	m <sup>3</sup> 227.3 %	204.9 92.0	322.6 141.9	×

【コメント】	
上水使用量	昨年 307.2 昨年比 約+5% 工場での使用量が、メーターにより確定するようになったため、想定より事務所での使用量が多かったことがわかった。今後も節水に努める。

# 【 環境活動計画の取組結果 】

平成 28 年度

平成28年7月～平成29年6月

取 組 項 目		検査部	工 事 部	事 務 所
1	廃棄物の削減	分別方法(置場・表示)等の工夫、及び徹底。 廃棄物処理委託先の確認 産廃ボックスを、検査部・工事部分けて設置し、 各々管理に努めました。		裏紙使用も 徹底しました。
2	資源エネルギーの有効利用 及びCO <sub>2</sub> 排出量の削減	容器検査工場の稼働時間の 徹底。夏場は 工場稼働日を 週3日に抑え、配送トラック も、3台から2台に減らし、効 率より稼働するようにしまし た。	エコ運転の徹底、車輛の買い 替え時には燃費のいい車を 検討しました。	2階の検査部 部室の電 灯をLED化しました。 トイレに具体的な省エネア イディアのポスターを掲示 をしました。 月3回 金 曜日にノー残業デーを設 定し、電力の節約にも努 めました。
3	水資源を守る	工場の稼働時間の徹底。洗 車等には、雨水の利用を工 夫する		余分なお湯を沸かして、 捨てる事の無いように、気 を付けました。麦茶等の作 りすぎも気を付けました。
4	化学物質の適正管理 及び削減	管理者による管理を徹底す る、より環境に優しい製品を 選ぶよう、常に検討する。 該当者は年2回の有機溶剤 検診(エチルベンゼン・キシレ ン・トルエン)に加え、じん肺 の検診も開始しました。	無駄を出さないように、使用 時には十分注意する	
5	環境配慮品の購入	より環境に優しい製品がない か、常に検討しました。 梱包用品、清掃用品等	より環境に優しい製品がない か、検討しました。 消耗品・ウエス等	グリーンマークの付いた事 務消耗品等を選びました。
6	環境関連法をの厳守	汚泥が、飛び散らないように 検討しました。排水に油分等 が流れ出さないように、オイ ルフェンス等の管理を徹底し ました。	残っていた水銀の廃棄を専 門業者に委託しました。 客先で水銀を使用した地震 計等がまだあるので、交換を お願いしました。	工場の該当者は、特殊健 康診断の有機溶剤に加え て、じん肺の検診を始めま した(2年に1回予定)



# 【具体的な環境活動】

平成28年度

検査部

## 1 廃棄物の削減

廃材の分別、リサイクル、リユース、リデュース

- \* 残資材、缶、瓶、紙の分別の徹底
- \* 廃棄容器等のマニフェストを管理する

容器検査部専用の  
産廃ボックスを設置

## 2 資源エネルギーの有効利用 及びCO<sub>2</sub>排出量の削減

電気の使用量を削減する

- \* 不要電力をカットする(工場・倉庫 明り取り窓の設置)
- \* 省エネルギー化に努力する。
- \* 残ガスの単純焼却を減らし、有効利用を検討する。

夏季の工場の稼働日を  
週3日に集約する

燃料の使用量を削減する。

- \* エコドライブの周知徹底と実行する。
- \* 車両の効率的運行及び車両整備を実施する。
- \* 消費燃料の状況を把握する。

夏場の配送合理化を実施  
車両 走行前点検の徹底  
毎月車両ごとの燃費発表

## 3 水資源を守る

- \* 節水 (検査用水・洗車用水) に努める
- \* 水漏れ点検の実施
- \* 雨水の利用・検査用水のリサイクルの実施

## 4 化学物質の適正管理 及び削減

- \* 塗料の成分確認と有機溶剤の削減  
特にエチルベンゼンの含有量の少ない塗料に 置き換える

有機溶剤検診 年2回  
(キシレン・トルエン・エチルベンゼン)  
じん肺 検診 開始

## 5 環境配慮品の購入

- \* 梱包資材等購入時にグリーン該当商品か確認する

## 6 環境関連法の遵守

- \* 消防・騒音・振動・悪臭・溶剤・水質等の遵守の確認

環境測定の実施

# 【具体的な環境活動】

平成28年度

工事部

## 1 廃棄物の削減

廃材の分別、リサイクル、リユース、リデュース

- \* 残資材、缶、瓶、紙の分別の徹底
- \* ミスのない工事をし、現場での廃棄物を出さない
- \* 廃棄容器等のマニフェストを管理する
- \* アスベスト含有品の取扱いに注意する



## 2 資源エネルギーの有効利用 及びCO2排出量の削減

車輻燃料の使用量を削減する。

- \* エコドライブの周知徹底と実行する。
- \* 車両の効率的運行及び車両整備を実施する。
- \* 消費燃料の状況を把握する。

倉庫の 明り取り用窓・天井



## 3 水資源を守る

- \* 節水 （検査用水・洗車用水）に努める
- \* 検査用水の排水時には、汚染水が河川等に直接流れないように気を付ける

## 4 化学物質の適正管理 及び削減

- \* 塗料・シンナーの管理を徹底する

## 5 環境配慮品の購入

- \* パッキン等は、アスベストを含有しない物を選ぶ



## 6 環境関連法の遵守

- \* 産業廃棄物の収集運搬時には 法令を守る

# 【具体的な環境活動】

平成28年度  
事務所

## 1 廃棄物の削減

廃材の分別、リサイクル、リユース、リデュース

- \* 焼却、リサイクル(缶、瓶、紙)の分別の徹底
- \* コピー用紙の両面使用を実行する。

## 2 資源エネルギーの有効利用 及びCO<sub>2</sub>排出量の削減

電気の使用量を削減する

- \* 不要電力をカット(事務所 休憩室)  
照明・換気扇・テレビ等電源管理を 徹底する。

- \* 省エネルギー

冷暖房の室温管理 (冬20℃、夏28℃) 指定温度を守る

- \* グリーンカーテンの実施

燃料の使用量削減

- \* エコドライブの周知徹底と実行

2階会議室・事務室  
LED工事 実施

GHP 3ヶ月毎の自主点検



## 3 水資源を守る

- \* 節水 (事務所、休憩室、花壇散水)
- \* 水漏れ点検の実施
- \* 雨水の利用を検討する。

## 4 化学物質の適正管理 及び削減

○ 該当なし

## 5 環境配慮品の購入

- \* コピー用紙は全て再生紙にする
- \* トナーや事務用品の購入時にグリーン該当商品かを確認する



## 6 環境関連法の遵守

- \* 浄化槽の点検実施

## 【環境活動の取組結果の評価】

平成 28 年度

評価 担当者	近 藤 政 明
評価 年月日	平成 29 年 11 月 25 日

総 合

平成28年7月～平成29年6月

取 組 項 目		評 価		
		達成状況	問題点	是正・予防処置
1	廃棄物の削減	×	産廃の規制がだんだん厳しくなる中、いかに最終処分場まで行く廃棄物量を減らせるか。まだ改善や工夫の余地はあると思う	分別を、より分かり易くするようポスターや分別方法を工夫する。定期的な教育も必要と考えます。
2	資源エネルギーの有効利用及びCO <sub>2</sub> 排出量の削減	×	購入電力は減少しているが、残ガスの燃焼が増加し、対策が立たない状態が続いている	残ガス有効利用、あるいは工業用での販売も検討。今年から始めたノーマル残業デーにも、引き続き取り組みたい。
3	水資源を守る	○	エコアクションを始めてから、工場の設備更新等で、節水が進んでいる。	さらに一層の取り組みと、水質の管理に努める
4	化学物質の適正管理及び削減	○	エコアクションを始めてから、工場の設備更新等で、有機塗料の削減が進んでいると思う。	快適な作業環境が作れるよう環境測定を続ける
5	環境配慮品の購入	△	漫然と習慣で、同じものを使い続けていないか？	グリーン購入品目の購入時確認と、積極的な活用を実行する
6	環境関連法の遵守	○	従業員への法令の周知が十分であるか？	教育・講習等で周知を図り、何事も法令遵守を徹底する

## 総 評

社員全体を見たとき、まだまだ二酸化炭素排出量、産業廃棄物についての知識が少ない感じを受けますので、定期的な教育を、もう一度検討したいです。

今後も、法規制の遵守と共に、『環境・社会』に於いて企業の責任を意識した運営をしていきます。

## 【環境活動の取組結果の評価】

平成 28 年度

評価 担当者	今 村 光
評価 年月日	平成 29 年 11 月 20 日

検査部

平成28年7月～平成29年6月

取 組 項 目	評 価		
	達成状況	問題点	是正・予防処置
1 廃棄物の削減	△	専用の産廃ボックスを用意したが、まだまだ分別収集が、不十分と思う。	分別を、より分かり易くするようポスターや分別方法を工夫する
2 資源エネルギーの有効利用及びCO <sub>2</sub> 排出量の削減	×	バルク貯槽の廃棄処理が増えるにつれ、残ガスの燃焼が増加し、対策が立たない状態が続いている	残ガス有効利用、あるいは工業用での販売も検討
3 水資源を守る	○	夏季の工場の稼働日の制限で、耐圧検査に使用する地下水も、減少している。	油水分離槽の水質管理を徹底し、環境に配慮する
4 化学物質の適正管理及び削減	○	ショット作業者にじん肺検診を追加した。	有機溶剤の資格未取得者に、取得させるよう計画する。
5 環境配慮品の購入	△	塗装関係は特に、成分を確認して購入したい。	グリーン購入品目の購入時確認と、積極的な活用を実行する
6 環境関連法の遵守	○	従業員への法令の周知が十分であるか？	教育・講習等で周知を図り、何事も法令遵守を徹底する
<p><b>総 評</b></p> <p>まもなく設置20年を迎えるバルク貯槽の廃棄の増加に伴う残ガスの処理が、今後更に問題になると思われます。単純燃焼以外の対策を早急に立てる必要を感じています。</p> <p>今年も、配送トラックによる軽油の削減のために、夏場の配送車を3台から2台に減らし、あるいは配送本数が少ないときは4トン車を3トン車に変更するなど工夫し、配送ルート合理化を図りました。3トン車も燃費の良い新車を1台増車する事としました。また、夏季の工場の稼働日も制限し、電力や水の無駄が出ないように努めました。</p>			

## 【環境活動の取組結果の評価】

平成 28 年度

評価 担当者	芳 賀 一 博
評価 年月日	平成 29 年 11 月 20 日

工 事 部

平成28年7月～平成29年6月

取 組 項 目	評 価		
	達成状況	問題点	是正・予防処置
1 廃棄物の削減	△	分別に努めているが、仕事量・作業内容等で一律に削減という訳にもいかないのが悩み	分別を、より分かり易くするようポスターや分別方法を工夫する
2 資源エネルギーの有効利用及びCO <sub>2</sub> 排出量の削減	○		アイドリングストップ、無駄な積載物の削減に及び、エコ運転の実施を繰り返し啓蒙する
3 水資源を守る	—	社外作業のため 集計なし	常に節水に努めるよう朝礼等で啓蒙する。
4 化学物質の適正管理及び削減	○	工事に使用する塗装・シンナー類の在庫・発注の管理をきちんとする。	管理状況を常に確認する。担当者を決める。
5 環境配慮品の購入	△	燃費の良い車両に交換したい。	グリーン購入品目の購入時確認と、積極的な活用を実行する
6 環境関連法の遵守	○	従業員への法令の周知が十分であるか？	教育・講習等で周知を図り、何事も法令遵守を徹底する

## 総 評

今年 は 特 に 廃 棄 物 の 削 減 に 努 め ま し た が、 廃 棄 物 の 量 が 多 く、 削 減 に は 至 り ま せ ん で し た。 今 後 も 適 正 処 理 の 実 施 と よ り 一 層 の 削 減 に 努 め ま す。

今 後 も、 ガ ソ リ ン ・ 軽 油 の 削 減 を 重 点 に し エ コ 運 転 の 取 り 組 み を 強 化 す る。 社 外 に お い て も 常 に 環 境 意 識 を 持 ち、 省 エ ネ ル ギ ー ・ 省 資 源 ・ 廃 棄 物 の 適 正 処 理 等 に 努 め る よ う、 指 導 し ま す。

## 【環境活動の取組結果の評価】

平成 28 年度

評価 担当者	石田 文子
評価 年月日	平成 29 年 11 月 24 日

事務所

平成28年7月～平成29年6月

取 組 項 目	評 価		
	達成状況	問題点	是正・予防処置
1 廃棄物の削減	×	特に休憩室の焼却ごみとリサイクルできる物との分別がまだまだ不十分と感じる	分別を、より分かり易くするようポスターや分別方法を工夫する
2 資源エネルギーの有効利用及びCO <sub>2</sub> 排出量の削減	×	事務所2階の一部をLDE化しましたが、車の台数が増えた為、CO <sub>2</sub> 削減は出来なかった。	エコ運転に努め、今年比で削減できるよう頑張りたい。2階の残り及び休憩室のLDE化も順次検討したい。
3 水資源を守る	×	前年比で使用量は増加してしまっている。	更に節水に努める
4 化学物質の適正管理及び削減		該当なし	
5 環境配慮品の購入	○	再生紙の利用に努める。	用紙の購入時には再生紙の確認、作業時にはミスコピーの削減、その他、機器を大切に使い長持ちさせることが大切
6 環境関連法の遵守	○	従業員への法令の周知がまだまだ十分である。	朝礼等で周知を図り、何事も法令遵守を徹底する

## 総 評

さらに一層の節電・節水・リサイクルの推進等に取り組みます。

## 【次期 環境活動の取組計画】

平成 29 年度

平成29年7月～平成30年6月

取 組 項 目		検査部	工 事 部	事務所
1	廃棄物の削減	分別方法(置場・表示)等の工夫、及び徹底。廃棄物処理委託先の確認	分別方法(置場・表示)等の工夫、及び徹底。廃棄物処理委託先の確認	ミスコピー等の無駄をなくす。紙・プラ・焼却するもの、の分別を徹底する。
2	資源エネルギーの有効利用及びCO <sub>2</sub> 排出量の削減	工場の稼働時間の徹底。大型車(配送トラック)のエコ運転の徹底。アイドリングストップの徹底。	エコ運転の徹底、車輛の買い替え時には燃費のいい車を検討する。車両に余分な荷物を載せないようにする。	事務所の新設を検討し、その際の全館の省エネ化を検討する。冷暖房の適温管理、昼休みの消灯、残業時間の削減
3	水資源を守る	工場の稼働時間の徹底。洗車等には、雨水の利用を工夫する。水漏れ等の確認。工場終了時には、バルブの閉確認。		節水の掲示を新しくして、社員にアピールする。上水の使用量が増えたときは、漏水を確認する
4	化学物質の適正管理及び削減	管理者による管理を徹底する、より環境に優しい製品を選ぶよう、常に検討する	無駄を出さないように、使用時には十分注意する。発注前に在庫数量の確認。多量の発注はしない。	
5	環境配慮品の購入	より環境に優しい製品がないか、常に検討する。梱包用品、清掃用品等	より環境に優しい製品がないか、常に検討する。消耗品・ウエス等	より環境に優しい製品を選ぶよう、常に検討する。事務消耗品、事務機器類
6	環境関連法をの厳守	消防・騒音・振動・悪臭・溶剤・水質等の法令の学習会を実施する	産業廃棄物、及び廃棄物のマニフェストについて、定期的に講習を行う。	廃棄物 収集運搬登録の 更新



# 【環境関連法規に係る遵守及び違反、訴訟等の状況】

当社に適用される環境関連法規への対応、遵守の状況は、次のとおりです。

法 規 名	適 用 対 象	取得年月日	対 応 事 項		遵守の確認
高圧ガス保安法	容器検査所	S56. 1.16	保安検査	三愛プラント工業	平成29年10月25日
消防法	消火器 火災警報器	S57.10.28	確認検査	焼津消防署	平成28年12月27日
騒音規制法	容器検査所	S59. 7. 6	定期自主検査	不二高圧(株)	平成28年11月30日
振動規制法	容器検査所	S59. 7. 6	定期自主検査	ハーテック・ミワ	平成28年12月26日
悪臭防止法	容器検査所	S59. 7. 6	環境測定	静環検査センター	平成29年2月16日
労働安全衛生法	塗料(有機溶剤)	H 8.11.14	エチルベンゼン等 環境測定	(株)サイエンス	平成29年9月8日
労働安全衛生法	ショットブラスト (粉じん)	H21. 8.12	定期自主検査	(株)ニッチュー	平成29年3月9日
静岡県地下水の採取に関する条例	容器検査所	S56. 5.26	地下水採取報告	焼津市	2016/8 廃止届提出 (対象外)
水質汚濁防止法	容器検査所	H20. 2.22	油水分離槽 水質検査	静環検査センター	平成29年9月6日
浄化槽法	浄化槽	S62. 4.13	保守点検	静岡環境保全センター	平成29年11月20日
計量法	工事(プラント検査、ローリ)	H27. 4. 13	圧力計 確認検査	静岡県	平成29年4月1日
PRTR法	容器検査所	H14. 7. 2	排出量及び移動量の記録	(静岡県)	提出なし(対象外)
フロン排出抑制法	ガス冷暖房機		3ヶ月毎の自主点検 3年毎の定期点検	自社 メーカー	平成29年11月20日
廃棄物処理法	工事	H25. 8.19	収集運搬	静岡県	平成29年11月20日
廃棄物処理法	産業廃棄物処理	H20. 8.22	業者委託契約	チューサイ 桜井資源	平成29年11月20日
廃棄物処理法	ショット汚泥	H17. 2.17	業者委託契約	コーシンサービス	平成29年11月20日
廃棄物処理法	事務所、休憩室	H20. 8.22	業者委託契約	エコライフアシスト	平成29年11月20日
グリーン購入法	事務所、休憩室		資材購入		-
自動車リサイクル法	社有車		リサイクル料金		-
労働安全衛生法	従業員		健康診断 (一般・有機溶剤)	志太医師会	2017/6 2017/11
高圧ガス保安法	容器検査所	H23. 9.22	登録申請(更新)	静岡県	平成29年11月20日
高圧ガス保安法	指定保安検査機関	H28.2.1	再認定申請	経済産業省	平成29年1月20日
高圧ガス保安協会	工事(プラント検査、ローリ)	H23.11. 4	再認定申請	高圧ガス保安協会	平成29年11月20日
建設業法	工事	H27.10. 6	更新許可申請	島田土木事務所	平成29年9月28日

## 環境関連法規の確認

当社の事業に係る、関連法規等における義務、責任の中で苦情、違反及び訴訟等は、3年間なかったことを報告します。

平成29年11月20日

確認者  
環境担当事務局

石田 文子 

# 代表者による評価と見直し

## 評価

二酸化炭素の排出量については、バルク貯槽のクズ化作業に伴う、残ガスの燃焼処理が増えてきており、今後も増える傾向にあります。

このため、客先に残ガス量の調整をしていただくよう協力要請をしながら進めていかなければなりません。

また、産業廃棄物についても、産廃の規制が厳しい現状の中で、いかに最終処分場まで行く産廃の量を減らす努力、そして、分別をより一層詳細に実施し、再利用できる物できない物を区別していく必要があると感じました。

## 見直し

平成20年4月にエコアクション21の最初の登録をしてから、間もなく10年になります。当時に比べれば、社員の意識も遥かに向上していますが、登録後に入社した人も増え、社員全体を見たとき、まだまだ二酸化炭素排出量、産業廃棄物についての知識が少ない感じを受けますので、定期的な教育を、もう一度検討したいと思います。

平成 29 年 11 月 25 日

不二高压株式会社

代表取締役社長

近藤 政明

